

令和4年度 区民意識・意向調査 層化抽出法に基づく抽出について

■豊島区の年齢別人口割合に基づき、3,000人を層化抽出法で抽出した場合

豊島区民 253,281 人に対し、本区の年齢別人口割合に基づき日本人および外国人に対し、層化抽出法を用いて標本数 3,000 人を抽出した場合、以下のとおりとなります。なお、年齢階層は、今年度の意識・意向調査 設問(案)問 33 の回答選択肢に合わせた階層にしています。

■年齢による層化抽出法（抽出時点：令和4年4月1日）

年齢	人数			割合	抽出人数		
	計	日本人	外国人		計	日本人	外国人
18～19	3,748	3,400	348	1%	44	40	4
20～29	47,005	36,805	10,200	19%	557	436	121
30～39	47,986	42,000	5,986	19%	568	497	71
40～49	45,589	42,826	2,763	18%	540	507	33
50～59	38,471	36,614	1,857	15%	456	434	22
60～64	13,641	13,165	476	5%	162	156	6
65～74	27,033	26,459	574	11%	320	313	7
75以上	29,808	29,578	230	12%	353	350	3
	253,281	230,847	22,434	100%	3,000	2,734	266

出典：住民基本台帳による年齢別男女別人口（令和4年4月1日時点）

※外国人については、年齢人数に対し無作為で抽出し、抽出した結果、中国籍の方には中国語版の調査票を、中国籍以外の方にはやさしい日本語版の調査票の送付を想定しています。

■単純無作為抽出法と層化抽出法について

・単純無作為抽出法(前回平成 28 年度採用)

調査対象を母集団(全体)から無作為に抽出する方法。

・層化抽出法(令和4年度採用を検討)

母集団(全体)をある特性に基づいていくつかの「層」に分け、その「層」と同じ比率を標本に投影させ、各層から抽出単位又は調査対象を抽出する方法。

各層の特性に合わせて必要な標本サイズを設定するため、少ない調査対象で誤差の少ない結果が望める。

(例)母集団 1,000 人から 50 人を層化抽出法で調査する場合
年齢割合に応じた層化抽出

	母集団 1,000 人		標本数 50 人
20代	300 人	層化抽出	15 人
30代	400 人		20 人
40代	200 人		10 人
50代	100 人		5 人